

衆議院環境委員会ニュース

【第 213 回国会】令和 6 年 4 月 9 日（火）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案（内閣提出第 60 号）

・伊藤環境大臣、国定環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）石原正敬君（自民）、鰐淵洋子君（公明）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）株式会社グリーン代表取締役

公益社団法人神奈川県産業資源循環協会会長

公益財団法人全国産業資源循環連合会理事

藤枝慎治君

大阪産業大学デザイン工学部准教授

花嶋温子君

株式会社北浜化学取締役製造本部長

村上慎一君

公益財団法人地球環境戦略研究機関主任研究員

粟生木千佳君

（質疑者）石原正敬君（自民）、馬場雄基君（立憲）、奥下剛光君（維教）、中川康洋君（公明）

（質疑者及び主な質疑事項）

（政府に対する質疑）

石原正敬君（自民）

- （1） 本法律案の狙い及び廃棄物処理法との役割の違い
- （2） 中央環境審議会における第五次循環型社会形成推進基本計画の見直しに向けた議論の推移及び同計画で循環経済への移行を位置付けることとした理由
- （3） 循環経済への移行に向けて重点対応を行う具体的な素材、取組の方向性及び数値目標
- （4） 最終処分場
 - ア 我が国の最終処分場の残余容量と残余年数
 - イ 本法律案の施策による最終処分場の負荷軽減
- （5） 経済安全保障
 - ア 本法律案の活用による経済安全保障への貢献及び今後重点的に行う施策
 - イ 太陽光パネルの排出量の見込み及び本法律案によるリサイクル促進の効果
- （6） 本法律案で環境大臣が定めることとされる「廃棄物処分業者の判断の基準となるべき事項」の具体的内容
- （7） 本法律案で規定されている「特定産業廃棄物処分業者」の具体的要件
- （8） 特定産業廃棄物処分業者による再資源化実施状況に関する情報の収集及び公表の方法

鰐淵洋子君（公明）

- （1） 本法律案の提出に至った背景とポイント
- （2） 高度再資源化事業計画等の認定において想定される基準、類型及び事業者の具体的なメリット
- （3） 認定高度再資源化事業者等が資源循環の高度化を進めるための補助金や税制優遇などのインセンティブ拡充の必要性
- （4） 再資源化の実施状況の報告を行う特定産業廃棄物処分業者の負担増への懸念に対する環境省の見解
- （5） 再資源化の実施状況の公表による製造業者と廃棄物リサイクル業者とのマッチングに向けた工夫の必要性
- （6） 本法律案に基づく認定制度による使用済紙おむつの再生利用等への貢献の有無
- （7） ペットボトルキャップ
 - ア リサイクルについての現状と認識

- イ 赤外線を利用した樹脂選別技術によるリサイクルが本法律案の認定対象となる可能性
- ウ ペットボトルキャップの回収、リサイクルの促進に向けた取組状況
- (8) 動静脈連携の実現に向けた取組
- (9) 本法律案施行に当たっての経済産業省及び地方自治体との連携に関する取組方針並びに消費者、国民の意識改革及び行動変容に向けた伊藤環境大臣の決意

(参考人に対する質疑)

石原正敬君（自民）

- (1) ビッグデータの活用に関する課題及び今後の可能性についての藤枝参考人の見解
- (2) リサイクルすればよいのではなく、資源を使わないようにすべきとの見解を踏まえ、本法律案においてPRすべき点についての花嶋参考人の見解
- (3) 熱分解装置の許可を得る際の行政対応において最も困難であったと考える点についての村上参考人の見解
- (4) 循環経済への移行に向け、特にファイナンス面において日本の経済界へアピールすべき点及び想定される今後の課題についての栗生木参考人の見解

馬場雄基君（立憲）

- (1) サーキュラーエコノミーという言葉の使用に関する、国民理解の増進に向けた言葉の選び方という観点からの花嶋参考人の見解
- (2) 本法律案の施行による地方自治体への影響に関する花嶋参考人の見解
- (3) リサイクル材の市場化に向けた懸念、課題及び望ましい制度設計についての藤枝参考人及び村上参考人の見解

奥下剛光君（維教）

- (1) 廃棄物処理やリサイクルの法手続に関する現場サイドから見た改善点についての村上参考人の見解
- (2) 本法律案による産業の活性化のために現場が求める支援策についての藤枝参考人の見解
- (3) 地域経済、雇用創出及び環境配慮等の観点からの本法律案についての花嶋参考人の意見
- (4) 国際的な観点からの本法律案についての栗生木参考人の見解
- (5) 脱炭素化と資源循環を進めるために静脈産業が発信すべき情報についての村上参考人の見解

中川康洋君（公明）

- (1) EUのサーキュラーエコノミーの取組から我が国が学ぶべき内容についての栗生木参考人の見解
- (2) サーキュラーエコノミーや再資源化の高度化の取組への我が国のポテンシャル及び課題についての栗生木参考人の見解
- (3) 水平リサイクル
 - ア 我が国の強みである水平リサイクル促進に当たって可能性のある品目についての栗生木参考人の見解
 - イ 広域的分別収集を含めた基礎自治体との連携の在り方についての藤枝参考人の見解
- (4) 再資源化事業の更なる高度化に当たり可能性のある新たな類型についての栗生木参考人の見解
- (5) 中小事業者が多い我が国の産業廃棄物処分業者に向けた再資源化の推進に当たっての意識付けや行動変容の具体的手法についての藤枝参考人の見解